

# イギリスにおけるリスク教育

<https://www.hse.gov.uk/education/index.htm>

2000年、HSE（健康と安全行政府）はリスク教育プログラムを立ち上げ、学校やその他の教育施設（工学や設計など安全が重要な職業に就くための学部課程がある大学など）でリスク管理技術がどの程度教えられているかを確認し、影響を与えることにした。

## 1. 背景情報

1) このプログラムは4つのプロジェクトで構成されています。

①あらゆるレベルでのリスク意識の向上...

②リスクに対する意識の向上...

③リスク教育支援教材の提供...

④情報収集...

現在、いくつかのパイロットプロジェクトが進行中であることを除けば、この活動プログラムは終了しています。これらの4つのプロジェクトから得られた知見は、現在、より広い意味での「賢明なリスク討論」の文脈で検討されています。

2) 調査の結果、以下のことが明らかになりました。

生徒たちは、特定の状況における特定のリスクや危険について指導されているが、リスクそのものや、安全衛生の基本であるリスク管理の原則については指導されていない。

ある状況（例えば交通安全）におけるリスクについての教育が、異なるリスク（例えば薬物乱用）の管理に適用できる同じ原則の適用につながると仮定する確固たる根拠はない。

教員は「リスク教育」や「リスク概念」といった用語に難色を示し、HSEが教員研修や労働組合の議題に影響を与える仕組みは現在のところ存在しない。

リスクと安全衛生に関する教師との話し合いにより、教師自身が脆弱性を感じており、個人的な責任や訴訟を恐れて、しばしば抑制されていることが明らかになった。

若者は、初めてワークスペースに入るときが最も無防備である。  
より詳細な調査結果は、リスク教育プログラムの下で作成された6つの調査報告書に記載されています。

HSEは、職場体験に関するガイダンスを発表し、これに関してステークホルダーと関わる機会や、より一般的な教育における安全衛生の問題に対する認識を高めるための機会を継続しています。

### 3) リソース

職場のリスクをコントロールする (PDF)

子どものための建築現場安全ポスター (PDF)

正しいスタートを切るために、若者を職場体験させる雇用主のために (PDF)

その他のリソース

こちらをご覧ください

DFES

ROSPA

科学教育協会

今月の神話

関連コンテンツ

リスクマネジメント

教育

HSEを通知する

購読する安全衛生に関する一般的な教育要件

研究内容

リスク教育プログラムは、リスク教育に関する5つの報告書を発表していません。

1) リスク教育の実施状況：イングランド、スコットランド、ウェールズの学校調査 (PDF)

2) 5～16歳を対象としたリスク教育の教育実践 (PDF)

3) 中高生向けリスク教育用ホームページの評価

4) ライフスキル-生きるための学習-プログラムの評価

5) 工学におけるリスク教育。新しいシラバスの開発 (PDF)

その他の研究

リソース

職場のリスクをコントロールする (PDF)

子どものための建築現場安全ポスター(PDF)

若者と職場体験 (PDF)

その他の資料

リスクマネジメント

賢明なリスク管理

リスクアセスメント例

リスクアセスメントの作成方法

よくある質問

リスクマネジメントのウェブサイトを見る

## 2. 健康と安全に関する一般的な教育要件

この法定声明は、科学、デザイン・技術、情報・通信技術、美術・デザイン、および体育に適用されます。

1) 道具、設備、材料を使い、実践的な活動を行い、不慣れな環境を含むさまざまな環境で作業する場合、生徒たちは以下のことを教わるべきである。

①危険性、リスク、リスクコントロールについて

②ハザードを認識し、その結果生じるリスクを評価し、自分自身と他人のリスクをコントロールするための手段を講じること。

③情報を使って、直接的なリスクと累積的なリスクを評価すること。

④自分自身と他人の健康と安全を確保するために、環境を管理すること。

⑤リスクをコントロールするために講じた措置を説明すること。

この5教科の一般的な教育要件に加え、各教科の学習プログラムには、健康と安全に関する特定の教育要件が含まれています。

## 3. ガイダンス

1) この新しい安全衛生要件は、安全衛生庁との協議を経てQCAが作成したものである。国家カリキュラムの見直しは、リスクの概念をどのように教えるかを再考する機会を提供した。

2) このガイダンスは、この声明で使用されている用語のいくつかは教師が慣れ、この声明を使ってリスクの概念を教え、生徒のリスクを評価し管理する能力を育成する方法を示すことを目的としている。

### 3. 用語の説明

危険とは、害を及ぼす可能性のあるものすべてを意味する。

①リスクとは、そのハザードによって誰かが害を受ける可能性の高低を意味する。

②リスク管理とは、ハザードが害を及ぼす可能性を低減し、その結果を軽減するための措置を講じることです。

③リスクアセスメントは、リスクを評価し、予防措置が適切であるか、より多くの措置を講じるべきかを決定するものです。

4) 教師は、すでに生徒たちにリスクの概念を紹介していることでしょう。リスク認識に関する一貫したメッセージを、生徒の学校生活を通じて適切な発達段階で伝えることは、結果として、学校内外の不確実性や変化に対応する能力を身につけることにつながる。

5. 生徒は、危険、リスク、リスクコントロールについて、これらの科目での作業の中で教わる必要があり、リスク認識が学習と発達の不可欠な部分を形成するようになる。安全衛生に関する記述は、生徒が様々な状況における危険、リスク、不確実性を認識するための理解とスキルを身につけるための枠組みを提供するものです。また、他の科目においても、危険に対する認識を深める機会を提供する。

6) リスクの概念について教えることは、生徒がリスクについて自ら判断し、次のことができるようにするためです。

様々な状況における危険、リスク、不確実性の存在を認識する。

さまざまな状況に対処するための自分自身と他者の能力を評価する。

自分自身や他者（例えば、学校、環境、家庭内）にもたらされる危険に対処する際の結果を評価する。

リスクを最小限に抑え、管理するために、適切な情報源からアドバイスを受ける。

リスクアセスメントから規則や規定が生まれ、個人と集団の責任を明確にすることを理解する。

7) 将来的には、生徒のリスクを評価し管理する能力はますます重要になる。リスクを管理する能力は、職場だけでなく、余暇活動や家庭でも応用できる。

リソース

職場のリスクをコントロールする (PDF)

子どものための建築現場安全ポスター(PDF)

正しいスタート、若者を職場体験させる雇用者のために (PDF)

その他のリソース

こちらをご覧ください

DFES

ROSPA

科学教育協会

今月の神話

関連コンテンツ

リスクマネジメント

教育

HSE を通知する

購読する背景情報